

# 令和8年度 小・中学校教育課程研究協議会に係る各部会の改善の重点

部会名

小学校 体育科

## 改善の重点

- ① 豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力をバランスよく育成できるよう、単元や内容のまとまりを見通した「指導と評価の計画」を作成すること。
- ② 目指す資質・能力の育成に向けて、単元の目標を共有したり、目標に関連させた各時間の「めあて」を設定したりする等の工夫した授業を行うこと。

## 1 設定理由

小学校学習指導要領第2章第9節体育の第3「指導計画の作成と内容の取扱い」において、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、体育や保健の見方・考え方を働かせ、運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決のための活動を選んだり工夫したりする活動の充実を図ること。また、運動の楽しさや喜びを味わったり、健康の大切さを実感したりすることができるように留意すること」と示されている。特に、深い学びの実現に繋げるには「見方・考え方」を働かせることが重要であり、「運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること」が必要である。

このことから、小学校体育の授業では、運動を通して知識や技能を獲得するとともに、運動や健康への関心・意欲を高め、それぞれの課題に向けて自ら考え工夫する力を身に付けることができるよう、指導と評価の一体化を図る授業改善が求められる。

実際には、「する・みる・支える・知る」といった多様な運動への関わりが促されるよう単元の目標を位置付けているものの、達成を十分に意識した単元の構成がなされていない授業も散見される。

そこで、育成すべき資質・能力を明確にし、知識と技能の獲得を往還させることで知識を深めたり、技能を高めたりする等、相互に関連させて学びを深める工夫が大切になる。また、単元を見通し教師が教える場面と児童が課題解決のために粘り強く試行錯誤する場面をどのように組み立てるかといった教師による学びのデザインの重要性を認識することも、授業改善で大切な視点となる。

豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を単元全体でバランスよく身に付けることができるように指導内容と評価規準の明確化、評価方法の工夫による学習評価の充実が重要となる。

## 2 研究を進めるに当たって

(1) 実践に当たっては、以下の点に留意すること。

- ① 「改善の重点①」については、単元全体の「指導と評価の計画」に対応した具体的な評価規準を作成し、評価方法を工夫すること。
- ② 「改善の重点②」については、単元の見通しをもたせ、目標の達成に向けた各時間の「ねらい」と「めあて」に沿った学習の評価が、児童自身で「めあて」に沿った「振り返り」が行われ、その「振り返り」の内容から児童の学習状況を適切に把握し、授業改善に活かすこと。

(2) 参考とすべき資料

- ① 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所）
- ② 早わかり！単元計画の作成手順（大分県教育庁義務教育課 Web サイト）
- ③ 大分県版小学校体育指導の手引、実践事例集（大分県教育庁体育保健課 Web サイト）